

先祖を慰め、文化遺産を未来に 第43回 大村古墳まつり

国指定史跡「大村横穴群」のある城本公園で、古墳に眠る先人たちをしのぶ大村古墳まつりが7月19日に開催されました。この祭りは城本町内会などで行われる実行委員会が、貴重な文化遺産を後世に引き継いでいくために、毎年開催しています。祭りでは古代人に扮した子どもたちの五色の旗行列や先人たちの供養が行われ、その後子どもたちが「古墳踊り」を奉納しました。参加した人吉西小3年の山科佐久蘭さんは「練習より上手く踊れた。来年も踊りたい」と話してくれました。



子どもたちは和楽器の音色に合わせてゆったりと舞った

人吉球磨産ヒノキを全国へ 株式会社ランバーやまと人吉工場落成式

本市と令和4年6月に立地協定を結んだ、製材業を営む株式会社ランバーやまと（上益城郡山都町）の人吉工場（上漆田町）が完成しました。7月12日に同工場で落成式が行われ、代表取締役社長の渡邊文昭さんは「地域と連携し、社員一同頑張っていきたい」とあいさつ。松岡市長は「ヒノキ材のブランド化など今後の展開に期待している」と話していました。式後には、関係者らが工場を見学。最新鋭の機械の前に「素晴らしい設備だ」などの感嘆の声が上がっていました。



同社はヒノキを専門で扱い、使用する原木の6割が人吉球磨産

復興へ歩むストーリーに共感呼ぶ 映画『囁きの河』先行上映会



約460席が満席になり追加上映が実施されるほどの大反響



上映後には舞台あいさつが行われ、撮影秘話が語られた

本市出身で俳優の中原丈雄さんが主演を務める映画『囁きの河』の先行上映会が、6月26・29日にカルチャーパレスで開催されました。同映画は、令和2年7月豪雨で被災した人吉球磨を舞台に、復興に向けて歩む人の姿を描いています。映画は両日の前売り券が売り切れ、追加上映が行われるほどの大反響。観客は映画の内容と自らの体験を重ね、豪雨災害を振り返る機会となりました。鑑賞した宮崎朋子さん（相良町）は「とても勇気づけられる映画だった」と話していました。



中原さんは失った居場所を取り戻そうと奮闘する元船頭を演じた

プールに子どもたちの歓声響く 市民プール営業中

憩いの場である市民プールが7月5日から営業を開始し、多くの来場者でにぎわっています。豪雨災害で被災した50以上のプールと2つの円形プールは子どもたちの歓声であふれています。夏休み初日の7月19日は最高気温が30度を超える真夏日に、涼を求める家族連れや子どもたちが次々と訪れました。免田小（球磨郡あさぎり町）の野村柊羽君と奏羽君は、「冷たい水で泳げて楽しい。プール最高！」と夏休みを満喫していました。



市民プールは8月31日まで営業

市長と一緒にいただきます！ 市長とのふれあいスクールランチ

松岡市長が市内の小・中学校を回り、子どもたちと給食を食べながら交流する令和7年度の「市長とのふれあいスクールランチ」がスタートしました。初日となった6月13日は東間小の6年2組を訪問。児童は市長と一緒に給食を食べながら、市長の仕事内容や普段の過ごし方などの質問をしたり、市長からも児童に最近の流行を聞いたりと会話が絶えませんでした。杉松優樹菜さんは「市長からまだ聞いたことがない話を聞くことができてうれしかった」と話していました。



この取り組みは2・3学期も開催し、市内全小中学校を回る予定

歴史学習の拠点として再始動 人吉城歴史館落成式



式典には約50人の関係者らが参列

令和2年7月豪雨で被災し、休館していた人吉城歴史館が5年ぶりにリニューアルオープンしました。同館は、1・5層浸水し収蔵資料約31点が被災。今回のリニューアルでは、電気・機械設備を浸水した位置よりも高く設置するなど、災害対策を強化し、展示物も一新しました。7月11日に落成式が同館で行われ、松岡市長は「市民や来訪者の歴史学習の拠点となるよう学校や地域と連携していく」と式辞。式典後の内覧会では「誰もが楽しめる施設になった」などの声聞かれました。



石積み体験など子どもから大人まで楽しめる施設に



7月23日には歴史学習の一環で約70人の小学生が訪れた